

令和6年6月25日
ぐんまみらい信用組合

第21回 経営諮問会議の概要について

当信用組合は、理事会の諮問機関として、外部有識者から構成される「経営諮問会議」を設置しております。本会議は、外部有識者より経営全般について助言・提言をいただき、これを経営に反映させることにより、経営の客観性・透明性を確保し、コーポレート・ガバナンスを強化することを目的としております。

過日、「第21回経営諮問会議」を開催いたしましたので、その概要につきまして、下記のとおりご報告させていただきます。

なお、第22回会議は、令和5年度決算状況を踏まえて令和6年8月頃に開催する予定にしております。

記

1. 日時

令和6年3月13日(水) 午前10時30分～午後0時15分

2. 場所

ホテルサンダーソン 2階 会議室

3. 出席者

(経営諮問委員) <五十音順、敬称略>

石綿 和夫	(高崎商工会議所 専務理事)
大久保 聡	(公益財団法人 群馬県産業支援機構 理事長)
小林 優公	(弁護士)
樋口 努	(群馬県商工会連合会 専務理事)
矢野 修一	(公立大学法人 高崎経済大学 経済学部教授)

(ぐんまみらい信用組合)

八高 武	(理事長)
多胡 忠浩	(常務理事)
石田 公一	(常務理事)
宮澤 環	(常勤理事)
高坂 学	(常勤理事)
高橋 茂信	(常勤監事)

4. 八高理事長挨拶

皆さん、こんにちは。本日はご多用の中、経営諮問会議にご出席を賜り誠に有難うございます。平素は当組合の業務運営に対してご支援・ご協力を賜り重ねて御礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症も5類に移行し、経済活動も増え、今まで中断していたイベント等も復活してきました。人の集まる所に必ず、会話・情報・繋がり・ビジネスマッチングがあると思います。事業者同士の交流や親睦の機会も活発に行われる事から、当組合も取引先や親睦会さらには地域行事に参加して地域貢献に努めていきたいと考えております。

一方、海外では戦争や紛争の長期化、中国経済の低迷、欧米のインフレ抑制における長期金利引上げ懸念等から資材やエネルギー・物価の高騰により中小規模事業者は厳しい経済状況が続いていますが、日本銀行の金融政策決定会合では、マイナス金利政策の解除が本格的に決まるのではないかと報道されています。

今年は、物価と賃金の好循環が経済の回復に大きく寄与すると期待されています。その為には、意識改革や高付加価値のあるビジネスに特化した経営革新が強く求められており、取引先の経営方針や業況把握に努め経営支援に取り組んでいきたいと考えます。

さて当組合の第4期3ヵ年経営強化計画は最終年度を迎え、残すところ半月となりました。

令和5年度は収益の確保に向け取組んでおります。一方、ゼロゼロ融資の返済が本格化する中で、取引先の持続可能性確保が大きな問題になっており、取引先の課題が多様化・高度化していく中、引き続き、資金繰り支援・経営改善支援や事業再構築支援・事業承継・人手不足問題などには、外部機関と連携したサポートと経済環境や金融市場動向に注視し、取引先に寄り添い、スピード感を以って取組んでおります。

昨年6月の役員改選により新執行体制がスタートし8ヶ月が過ぎました。経営者が今まで以上に率先して、営業店の臨店や取引先訪問の頻度を増やし、職員やお客様との対面を繰り返すことで、問題課題の解決や情報収集にも繋がると確信しております。

これからも、金融動向や環境構造の変化に立ち遅れないよう、特に、経営者との連携、コミュニケーションにはスピード感と緊張感を以って金融経営に取り組んで行きますので、諮問委員の皆様には、引き続き当組合の運営に対して、ご助言・ご提案を頂ければと考えております。

本日は宜しくお願い致します。

5. 当組合からの説明要旨

当組合より以下の内容について説明いたしました。

- ① 令和5年9月末仮決算の状況について
- ② 第4期経営強化計画の進捗状況について
- ③ 第20回経営諮問会議のご意見・ご提言の取組状況について

6. 意見交換

出席者から以下のご意見、ご提言を頂きました。

- ・職員の採用活動に関しては少子高齢化の影響で、人手不足の状況が続いており、新卒一括採用が難しくなっている状況なので、通年採用やUターン・Jターン・Iターン採用を群馬県や市町村・他企業と協力しながら、コミュニケーションを重視した共感を得られるよう

な工夫をする必要があると思う。

- 昨年群馬県においてデジタル・技術大臣会合が開催され、生成A I の活用について議論されており、金融機関においては、みずほフィナンシャルグループ等が業務の効率化やサービスの向上を目指して取り組みをしているようです。生成A I の活用については、得意な分野がある反面、課題もあると思うが、組合としても取り組みについては検討が必要であると思う。
- 民法改正により女性の再婚期間の短縮・地方銀行では初の女性取締役の誕生等男女共同参画の動きが進んできておりますが、ぐんまみらい信用組合においても有能な女性に対しては積極的に登用し、女性の参加出来る機会を増やしていただきたいと思う。
- 昨年 11 月末に成立した中小企業省力化投資補助事業が 4 月頃にカタログ型の申請形式とした補助金として予定されているので、この制度を活用して中小企業の省力化等の後押しをしていただきたいと思う。
- 企業先に対してD X の研修を行っているようですが、現在は人手不足が構造的にあり、賃上げをするだけでは人を集められない状況であります。人手不足を補うためには生産性を上げるための設備投資が必要であり、組合としてはD X 推進に繋がる融資を行い、取引先の支援をしていただきたいと思う。
- 事業承継に関しては、タイムリミットが迫っている中での相談は難しい部分もあるので、早い段階で対象先企業の掘り起こしを行い、気軽に相談できる体制を整えていただきたいと思う。

以 上